

令和7年度 事業報告書  
岩宇地区相談支援センター

社会福祉法人あけぼの福祉会

## I. 相談支援事業の状況について

### 1. 相談支援町村別実績

	身体	知的	精神	発達	重身	障がい児	その他	合計
岩内町	10	76	23	0	3	49	2	163
共和町	5	12	10	1	4	41	0	73
泊村	1	8	0	0	0	15	0	24
神恵内	0	1	1	0	1	3	0	6
その他	0	33	0	0	0	0	1	34
合計	16	130	34	1	8	108	3	300

※その他の地域:札幌市、石狩市、小樽市、森町、江差町、八雲町、長万部町、余市町、真狩村、京極町、喜茂別町、函館市、ニセコ町、蘭越町、千歳市、帯広市、倶知安町

### 2. 相談支援方法別実績

	身体	知的	精神	発達	重身	障がい児	その他	合計
訪問	43	183	88	2	54	208	0	578
来所	8	77	21	2	1	105	9	223
同行	0	2	9	0	2	1	0	14
電話	75	107	366	4	50	231	3	836
郵便等	0	0	1	0	1	9	0	11
関係機関	124	581	529	17	190	528	17	1986
事務業務	38	301	54	9	22	246	0	670
その他	1	0	1	0	0	0	2	4
合計	289	1251	1069	34	320	1328	31	4322

### 3. 計画相談件数

事業区分	特定相談	障がい児	合計
利用計画	125	87	212
モニタリング	283	88	371
合計	408	175	583

## Ⅱ．相談業務研修等の実施状況

開催年月日	研修名	開催地	参加職員
5月12日	発達障がい講座スタート研修	Web 開催	F・M、I・H
5月14日	区分認定調査員研修	倶知安町	I・H
5月26日	発達障がい講座研修	Web 開催	F・M、I・H
5月27日 28日	令和7年度精神保健福祉基礎研修～法制度と相談支援	Web 開催	I・H
6月5日 ～6日	令和7年度全道施設長セミナー	札幌市	I・M
7月9日 ～11日	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	I・M
8月12日 ～14日	相談支援従事者初任者研修	札幌市	Z・K
9月4日 ～5日	令和7年度北海道地域生活定着支援推進会議	Web 開催	F・M
9月16日	相談支援専門員現任研修	Web 開催	K・M
10月14日	障害者差別解消法道民フォーラム	倶知安町	O・R
10月15日 ～16日	相談支援従事者初任者研修	Web 開催	Z・K
10月29日	BCP 研修	職場内	5名
11月6日	自殺対策会議	岩内町	O・R
11月10日 ～11日	令和7年度全道知的障がい関係職員研究大会	旭川市	Z・K
11月21日	法人研修 ハラスメント事例に関わる研修	学園	Z・K
2月26日 27日	令和7年全道施設長研修会	札幌市	I・M

### Ⅲ. 岩宇地区自立支援協議会等の活動状況について

#### 1. 岩宇地区自立支援協議会

- ・事務局会議 4月、7月、9月、11月実施
- ・担当者会議 3月実施
- ・全体会 6月

#### 2. 障がい者支援関連協議会への出席

##### ①後志地域相談支援連絡協議会

- ・4, 5, 6, 8, 9, 10, 11月実施 (WEB開催)

##### ②後志圏域地域生活移行支援協議会

- ・5月実施 (WEB開催) / 12月実施 (岩内町)

##### ③後志圏域就労部会連絡協議会「ワークしりべし」

- ・10月実施 (岩内町)

#### 3. 岩内町子ども・子育て会議への出席

- ・2月開催/3月書面開催

### Ⅳ. その他の活動について

#### 1. BCP (業務継続計画) 訓練の実施について

- ・10月に非常時において策定済みのBCP (業務継続計画) の実効性を確認し、職員の対応力向上を目的として机上訓練を実施した。  
次年度も年1回以上の訓練を実施し、継続的な改善を図る。

#### 2. 令和7年度の相談傾向、地域課題について

令和7年度は、グループホーム入居に関する相談が多く寄せられた。

相談内容としては、養護学校卒業後の生活の場を探すケースのほか、離婚や介護者である親の高齢化により将来的な生活への不安が高まったケース、就労先の選択肢が多い札幌圏での生活を希望するケースなどがあり、10代から50代まで幅広い年代の方から相談があった。

相談支援では、本人や家族の希望を確認しながら、地域内外のグループホームや関係機関との調整を行った。必要に応じて、他地域の相談支援事業所や医療機関とも連携し、見学や体験利用につなげることで、新たな生活環境への移行を支援した。

一方で、常時支援を必要としない方からは、一人暮らしに近い形で生活できるアパー

トタイプのグループホームを希望する声が多く聞かれている。しかし、岩宇地域および近隣地域にはそのような住まいの選択肢が少なく、本人の希望に沿った生活を実現するためには、小樽市や札幌市など地元を離れて生活せざるを得ない状況がある。

地域内で多様な生活スタイルに対応できる住まいの選択肢が不足していることが、地域課題として挙げられる。